yamada

Z-107
取扱説明書

＝Ｚライトを組み立て、ご使用する前に一度お読みください＝

このたびは、山田照明Ｚライトをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書には、Ｚライトの使い方やお手入れの方法など、Ｚライトを正しく安全にお使いいただくために必要な事柄が書かれてあります。

●この取扱説明書を必ずお読みになり、正しくご使用ください。
●小学生以下のお子さんがお使いになる場合には、保護者の方がこの取扱説明書をお読みになり、正しい使い方や、やってはいけないことなどをお子さんに説明してあげてください。
●この取扱説明書は、大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

■はじめに

この取扱説明書には、つぎの事柄が書かれています。

a）仕様・・・・・・・・・・・・このＺライトに使用できる電球の型式名称が書いてあります。
b）ご使用上の注意・・・・・・Ｚライトをお使いいただくに当り、注意していただきたいことが書いてあります。
c）各部の名称・・・・・・・・Ｚライトの各部分の名称が書いてあります。
　この取扱説明書では、この項目で説明した名称を用いて書いてあります。
d）組み立て・・・・・・・・・Ｚライトの組み立て方法について書いてあります。
e）Ｚライトのセット・・・・・付属クランプの取り付け方とＺライトのクランプへのセットについて書いてあります。
f）使い方・・・・・・・・・・Ｚライトの使い方とアームの調節のしかたについて書いてあります。
g）電球の交換方法・・・・・・電球の交換方法について書いてあります。
h）お手入れ・・・・・・・・・お手入れの方法について書いてあります。
i）別売オプション・・・・・・別売のオプションを紹介します。
j）こんなときには・・・・・・ご使用中に困ったときやふだんと違った状態になったときにご覧ください。
　修理依頼をされる前にご確認ください。

a 仕　様

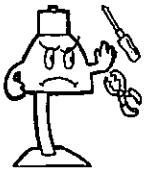
品　番	定格電圧	定格周波数	適合電球	重　量
Ｚ−１０７	ＡＣ１００Ｖ	50Ｈｚ／60Ｈｚ共用	Ｅ２６　ＮＥＷユーランプ　１００Ｗ　１灯	1.2kg

⚠警告

⚠ クランプの取り付けは、本取扱説明書にしたがい、確実に行なってください。
★クランプの取り付けが悪いと、倒れたり落ちたりして、火災やけが、器具の破損の原因となります。

⊘ アームにタオルなどを掛けないでください。
★アームやジョイント部分を傷め、故障の原因となります。

⊘ 器具の改造や構成部品の改造、変更はしないでください。



★火災や感電事故の原因となります。

⚠警告

⊘ セードの放熱穴や隙間から、異物を入れないでください。
★感電事故の原因となります。

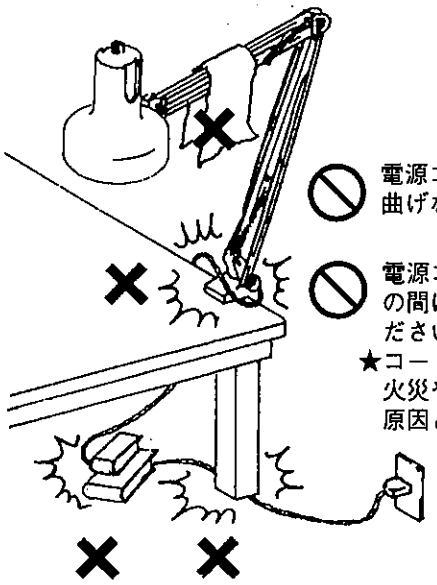
⊘ 一般屋内用器具です。
屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⚠ 傷んだコード（芯線の露出、断線など）は、そのまま使用せず、直ちに電気店に交換をご依頼ください。

★傷んだままで使用を続けると、火災や感電事故の原因となります。

⊘ 水洗いしないでください。
お手入れのし方は、『お手入れ』の項目を参照してください。

★感電事故や漏電、絶縁不良の原因となります。
★金属部分が錆びる原因となります。



⊘ 電源コードを無理に曲げないでください。

⊘ 電源コードを机と壁の間に挟まないでください。
★コードを損傷し、火災や感電事故の原因となります。

⊘ コードに物を載せたり、コードを踏んだりしないでください。
★コードを損傷し、火災や感電事故の原因となります。

⚠ 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生したら、直ちにスイッチを切り電源プラグを抜いてください。
異常状態がおさまったことを確認してから、電気店に修理を依頼してください。

⚠警告

⊘ 不安定な場所に設置しないでください。

★倒れたり、落ちたりして、火災やけがの原因となります。

⊘ 布や紙などの燃えやすいもので覆わないでください。

★火災の原因となります。

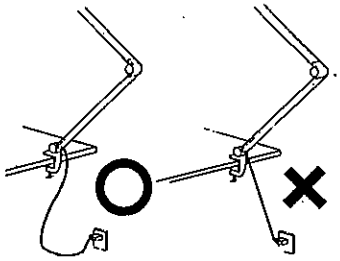
⊘ カーテンなどの燃えやすい物の近くで使用しないでください。

★火災の原因となる場合があります。

⚠注意

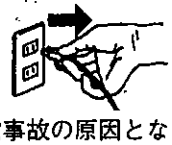
⊘ 電球を交換する際は、必ず指定された電球（適合電球）を使用してください。
★指定以外の電球を使用した場合、異常過熱などによって、器具の変形、破損や火災の原因となることがあります。

⊘ コードは余裕をみて使用してください。
★コードを引っ張るとコードを傷め、ショートによる火災や感電事故の原因となることがあります。



外出するときや長期間使用されない場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

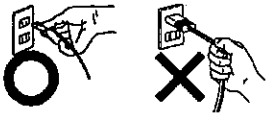
電球の交換やお手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてください。



★感電事故の原因となります。

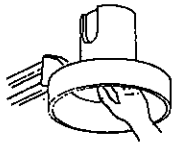
⊘ この器具は交流１００Ｖ専用です。
交流１００Ｖ以外の電圧で使用しないでください
★火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは電源プラグを持って行なってください。



★コードを引っ張るとコードを傷め、ショートによる火災や感電事故の原因となることがあります

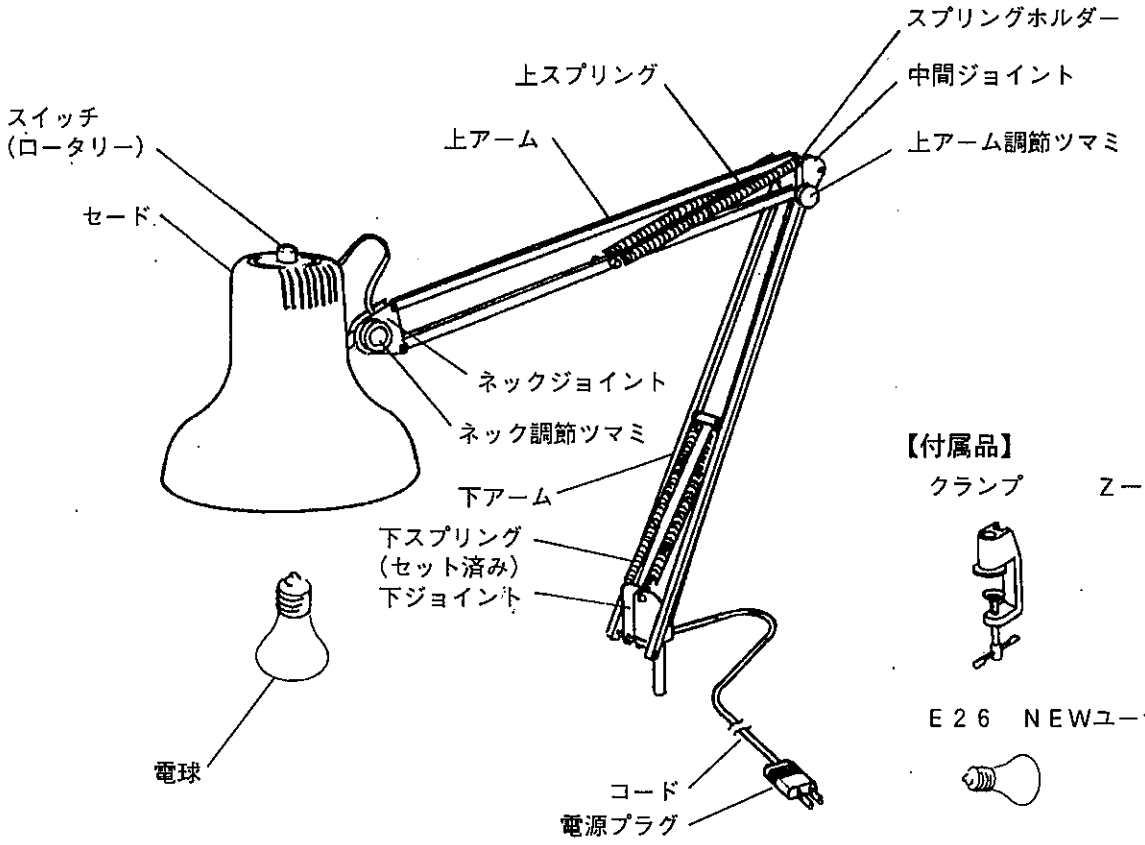
点灯中や消灯直後に、セードの内側に触れたり、電球に触れたりしないでください。



★火傷の原因となります。

c 各部の名称

万一、不足している部品などがあった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業窓口までご連絡ください。　Z-107



【付属品】

クランプ　　Z－A９・・・１個

Ｅ２６　ＮＥＷユーランプ　１００Ｗ・・・１個

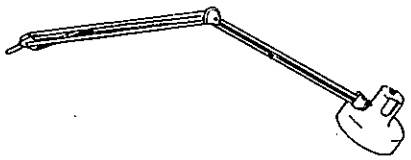
d 組み立て

＜必ず上スプリングをセットしてご使用ください。＞

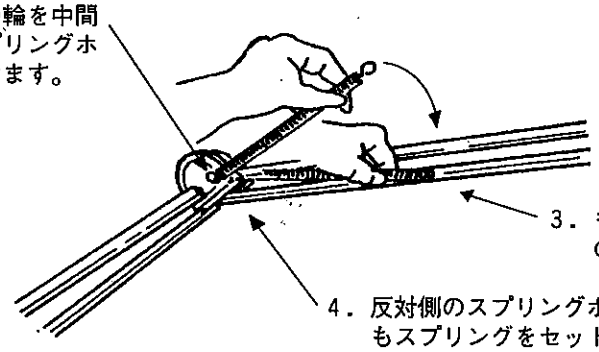
⚠注 意　アームの間に指を入れないでください。指を挟む場合があります。

◆上スプリングのセット

1．アームを伸ばし、床またはテーブルの上に置きます
(床またはテーブルに傷が付かないように、タオル
などを敷いてその上で作業してください。)



2．スプリングの一方の輪を中間
ジョイント側のスプリングホ
ルダーの溝に引掛けます。



3．もう一方のスプリングの輪をアーム側
のスプリングホルダーに引掛けます。

4．反対側のスプリングホルダーに
もスプリングをセットします。

⚠注 意　スプリング両端の輪は、スプリングホルダーの溝に完全に引掛けてください。
引掛け方が悪いとスプリングがはずれて大変危険です。

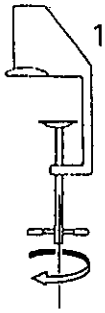
完全に引掛けてください。

引っ掛かりが不完全で、
はずれる危険があります。

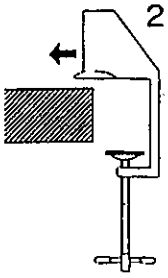
e Zライトのセット

◆付属クランプの取り付け

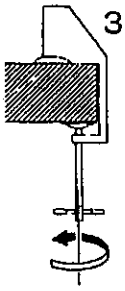
⚠注意
- ●付属のクランプ（Z－A９）がセットできる板の厚みは、５５mmまでです。
- ●別売のクランプの取り付け方は、クランプに同梱されている説明書にしたがってセットしてください。
- ●不安定な物にはセットしないでください。転倒や脱落などの恐れがあります。



1．クランプのセット金具を挟み込む板の厚みより広くなるように緩めます。

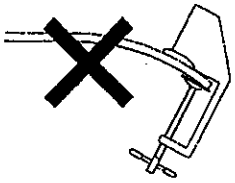


2．クランプをセットする板にしっかりくわえさせます。

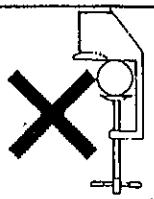


3．クランプのセット金具を締め込みます。

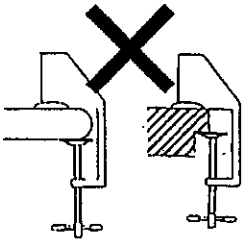
図のような所には取り付けないでください。
落下事故の原因となります。



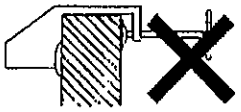
板の厚みの極端に薄いもの



丸パイプ

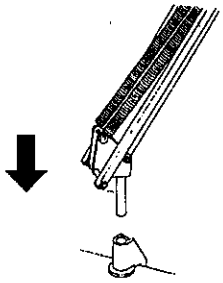


掛かりしろが少ない場所

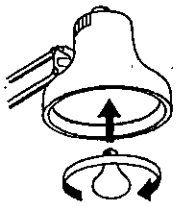


横向きセット
横向きに付けたいときは、別売のクランプ「Z－A４」をご利用ください。

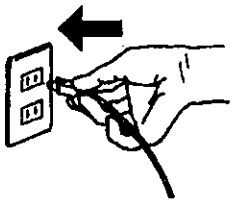
◆Zライトのセット



1．クランプにZライトを差し込みます。



2．電球をセード内のソケットにねじこみます。



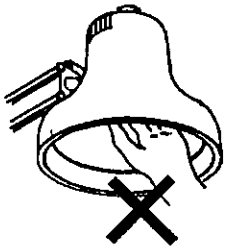
3．電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠注意 クランプには完全に差し込んでください。
差し込みが不十分な場合、器具がぐらついたりクランプからはずれる危険があります。

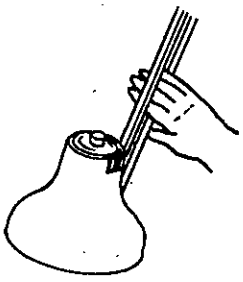
f 使い方

⚠注意 点灯中や消灯直後に、セードの内側に触れたり、電球に触れたりしないでください。

★火傷の原因となります。



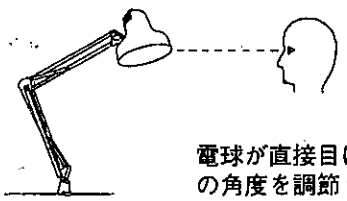
⚠ アームを持って調節しないでください。
★アームの間に指を挟む恐れがあります。



◆スタンドの正しい使い方 【目の疲れを少なくするために】

●部屋全体の照明とあわせて使いましょう。
★スタンドだけでは部屋に明暗の差ができて目が疲労しやすくなります。

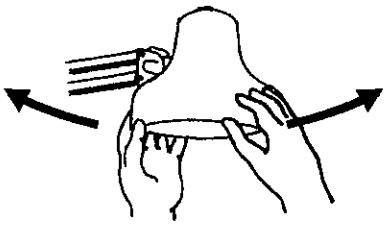
●スタンドは机の左斜め前方に置いて使用してください。
（右ききの場合）



電球が直接目に入らないようにセードの角度を調節して使ってください。

◆セードの位置（照射方向）の調節

セードの位置（照射位置）や向き（照射方向）を調節するときには、
セードの外側を持って行ないます。

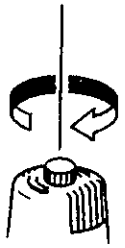


⚠注意 ●セードの内側に手や指を入れないでください。
★火傷する危険があります。

●アームを持って調節しないでください。
★指を挟む危険があります。

◆スイッチ操作

セード上部のロータリースイッチを右方向に回すごとにＯＮ－ＯＦＦを繰り返します。



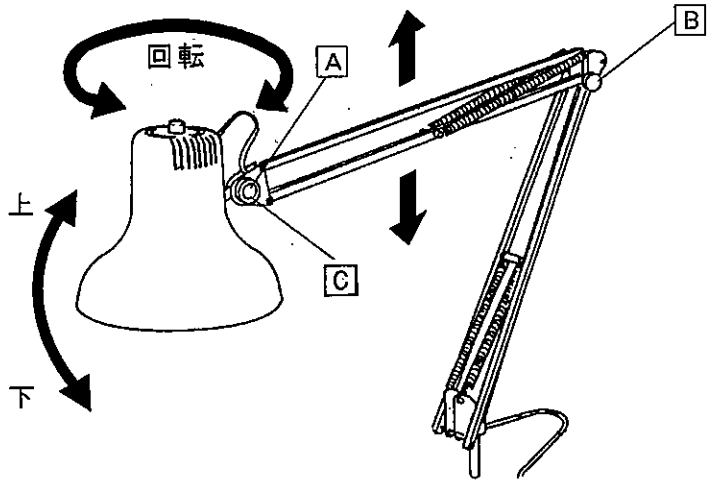
ＯＮ：スイッチのつまみを右方向に回すと「カチン」と音がして点灯します。
ＯＦＦ：点灯状態からスイッチのつまみを右方向に回すと「カチン」と音がして消灯します。

スイッチのつまみを左に回しても「カチン」という音はしますが、点灯・消灯はしません。
右に回したときだけスイッチが動作します。

◆ジョイントの調節

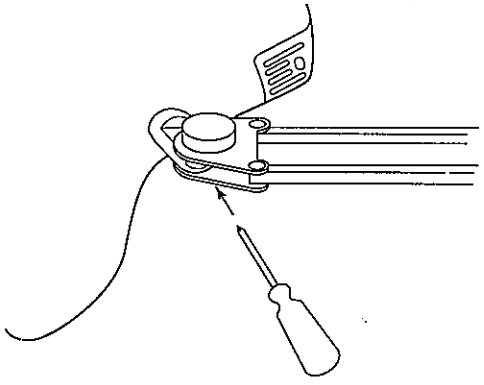
アームの動きがきつい場合や、逆に緩すぎる場合には、各部のジョイントのネジを調節してください。

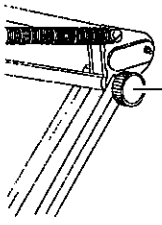
セードの上下の動きを調節するには、”Ａ”の調節ツマミ（１箇所）を調節します。



上アームの上下方向の動きを調節するには、”Ｂ”の調節ツマミ（１箇所）を調節します。

セードの回転を調節するには”Ｃ”の穴の奥のネジをドライバーで調節します。





左（反時計まわり）に回すと”ゆるみ”ます。

⚠注意 調節する場合、力を入れすぎたり絞めすぎたりしないでください。
調節ツマミが壊れる場合があります。

右（時計まわり）に回すと”しまり”ます。

g 電球の交換方法

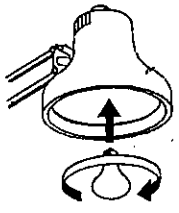
⚠注意

電球を交換する場合は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントより抜いてから行なってください。
★感電事故の原因となります。

スイッチを切った直後の電球は熱くなっていますので、絶対に素手で触らないでください。
冷えてから交換するかまたはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。

適合電球以外の電球は使用しないでください。必ず『a 仕様』欄の適合電球を使用してください。
★電球の短寿命や異常発熱による事故、故障の原因となります。

●セードの下から電球の交換をします。



1．古い電球をはずします。

2．新しい電球をソケットにねじ込みます。

h お手入れ　★常に良い状態でお使いいただくために、半年または一年に一度は掃除することをお勧めします。　Z-107

⚠注 意

必ず電源プラグを抜いてください。

★感電事故の原因となります。

濡れた手で触らないでください。

★感電事故の原因となります。

シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。

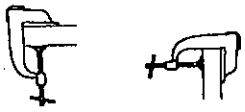
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

1．スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2．中性洗剤を溶かした水に布をひたし、よくしぼってから汚れを拭き取ります。
3．電球をはずして、セードの内側と電球の汚れも拭き取ります。
4．からぶきをして、水気を拭き取ります。

i 別売オプション　【付属のクランプ（Z-A9）以外に横付け用クランプや固定ベースをご用意しています】

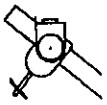
◆クランプ◆

Z－A 4
縦、横取り付け兼用型
板厚：55mmまで



Z－A 5
製図板用　上面取り付け用
板厚：55mmまで

Z－A 7
トラック式製図板用
側面取り付け用
板厚：36mmまで



◆固定ベース◆

Z－A 2
卓上固定用
木ネジ2本付き

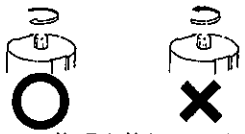
Z－A 3
壁面固定用
木ネジ3本付き

j こんなときは　上から順番にチェックしてください。

電球がつかない

↓

スイッチを正しく操作していますか ⟶ Zライトのロータリースイッチは、右回りに回したときにスイッチが動作します。左回りではスイッチは動作しません。



↓

電源プラグがコンセントから抜けていませんか ⟶ コンセントを確かめてください。

↓

コードが傷んでいませんか ⟶ 芯線が露出している場合や、コードに傷がある場合には、修理を依頼してください。

↓

電球が切れていませんか ⟶ 新しい電球と交換してみてください。

↓

ここまで点検しても電球がつかないときには、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。